



飯嶋 正利 議員

安定した農業経営への支援について

問 中東情勢が不安定な状況にある中、原油価格をはじめとして物価高騰による様々な影響が出てきている。生産者の経営安定を図るため、どのように国・県との連携をしていくのか。

答 国や県が行う燃料や肥料の高騰に対する支援策は、国の施設園芸等燃料価格高騰緊急対策事業や県の肥料価格高騰緊急支援事業などがある。また、省エネに関する施設や設備等の取得に対する支援策については、国の農産産地支援事業や農業経営基盤強化準備金などがある。

問 肥料・資材の高騰により経営が厳しくなっている農家に対して、例えば資金援助ということはあるのか。

答 迅速に支援できる資金手当てとして、金融機関の融資制度がある。日本政策金融公庫で

は、経営者の責めに帰さない理由で経営状況が悪化した事業者に対して、経営の維持安定に必要な資金融資がある。また、ちばみどり農協では設備や農機具の購入、運転資金や農業生産コストの負担を軽減するための資金融資制度などがある。

津波避難道路の整備について

問 5月に本県周辺の東方沖を想定した地震被害の調査結果が発表された。津波による被害を受けた本市において、津波対策の整備は急務である。富浦地区の津波避難道路の整備について伺う。

答 津波避難道路中谷里仁玉線については、旭市復興まちづくり計画の中で優先的に整備すべき路線として位置づけられており、津波からの避難路確保の観点から重要な路線であると認識している。本市における津波避難道路については、現在、既に着手している2路線を優先して進めているところであり、中谷里仁玉線については、その後に整備を予定している。現時点では着手時期を示せる状況にないが、今後も先行路線の進捗状況や財源の確保などを踏まえながら、着工に向けた検討を進めていきたい。



戸村 ひとみ 議員

水産業の振興と発展について

問 令和9年11月開催予定の「全国豊かな海づくり大会」に向けて、プレイベントの実施等、大会の進捗状況と国・県との連携について伺う。

答 プレイベントは、本年11月1日に銚子漁港で行われる予定。大会の進捗状況については、県の実行委員会において、実施計画などの準備、安全対策などの検討が進められている。

学校教育の充実について

問 児童・生徒が現代社会を生き抜いていくためには、命の大切さを知り、生きる力を養うことが必要である。いのちの教育について、学校ではどのようなことを教えているのか。

答 各学校では、児童・生徒の発達段階に応じて、道徳を含めた各教科や特別活動の授業等

において、命の尊さを学ぶ機会を設定している。

問 食育について給食残渣を減らす取り組みを伺う。

答 残菜が多い食材については、味つけや調理方法を工夫し、残さず食べてもらえるような献立に改善している。

子どもたちの活動に伴う安全確保について

問 市では今後、学校統廃合や部活動の地域展開によって子どもたちの活動範囲が大きく変わっていく。子どもたちがどのような環境にあっても、安全を担保していくためにはならない。放課後児童クラブや部活動展開、放課後等デイサービス等において、交通事故や食中毒等の不測の事態が発生しないよう、どのような対策をとっているか伺う。

答 放課後児童クラブでは、児童が安全に過ごせるよう事故防止・事故対応マニュアルを定め、事故を未然に防ぐための職員研修、児童への安全教育、事故が起こってしまった際、被害を最小限に抑えるための訓練を行っている。食中毒に関しても事故防止・事故対応マニュアルに基づき衛生管理を行っている。